

講義科目名称： 在宅看護学実習

授業コード： 53205500

英文科目名称： Home Visit Nursing Practice

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	必修
担当教員			
長田 律子、寺田 准子、兼田 啓子			
添付ファイル			

科目の概要	<p>1) 在宅看護を必要とする対象者と家族の特徴を捉え、対象に合った支援方法について理解する。</p> <p>2) 地域包括ケアシステムの中で在宅ケアを展開する看護師の役割と機能について理解する。</p> <p>3) 在宅における保健、医療、福祉の制度などの社会資源の活用、他機関・他職種との連携・協働について理解する。</p>
授業の内容	<p>事前準備① 次年度前期オリエンテーション（令和3年3月末） 在宅看護学実習の概要 実習に向けての今後のスケジュール 事前学習前半分の提出</p> <p>事前準備② 全体オリエンテーション（令和3年4月） 在宅看護実習要項説明 実習配置説明 担当教員の紹介 自己目標の説明</p> <p>事前準備③ 訪問看護ステーション別オリエンテーション（令和3年4月） 訪問看護ステーション管理者または実習担当者による実習説明</p> <p>事前準備④ 事前学習最終提出 実習担当教員のBOXに実習1週間前までに提出する</p> <p>学内日① 1週目月曜日 午前 学内初日オリエンテーション：実習施設における利用者の倫理的配慮に関する事項の説明等 午後 学内演習・事前学習の追加</p> <p>臨地実習 1週目火曜日～木曜日 ・訪問看護ステーションの役割、地域の特徴を理解する。 ・受け持ち療養者以外の訪問事例から訪問看護の実際を学ぶ。 ・受け持ち療養者の情報収集、アセスメントを行い看護の方向性を導く。 ・木曜日のカンファレンスで受け持ち療養者の看護の方向性を発表。指導を受けて修正を行い、受け持ち療養者の全体像の把握につなげる。</p> <p>学内日② 1週目金曜日 ・受け持ち療養者の関連図作成、看護計画立案 ・中間評価を基に実習担当教員と面談を行い、現在の到達状況と自己の課題を明確にして後半の実習に挑む。</p> <p>臨地実習 2週目月曜日～木曜日 ・関連図発表、看護計画立案発表を行い、受け持ち療養者の全体像の理解を深める。 ・受け持ち療養者に対する計画の実施評価、看護計画の修正を行う。 ・最終カンファレンスで在宅看護学実習の学びについて発表を行う。</p> <p>学内日③ 2週目金曜日 ・在宅看護学実習の学びのグループ発表会（地域の特性、訪問看護ステーションの特徴、受け持ち療養者を通しての学び、受け持ち療養者以外の対象等からの学び等）を行い、学生間で意見交換を行い、学びを共有する。 ・自身の在宅看護展開を振り返り実習記録を完成させる。 ・最終レポートの作成を行い、自身の課題や在宅看護に関する自身の見解をまとめる。</p> <p>最終提出 実習記録・最終レポートは実習終了1週間後の金曜日17時までに担当教員のBOXに最終提出する。</p>
学習到達目標	<p>1) 在宅で療養する療養者と家族の特徴を捉え、対象に合わせた支援方法を計画立案することができる。</p> <p>2) 地域包括ケアシステムの中で在宅ケアを展開する訪問看護師の役割と機能について理解できる。</p> <p>3) 在宅にかかわる保健・医療・福祉制度や対象者に合った社会資源の活用について理解できる。</p> <p>4) 在宅における他機関、他職種との連携・協働について理解する。</p>
授業の方法	2021年5月10日～9月17日までの期間、6つの訪問看護ステーションで1グループ2～4名に分かれて2週間の実習を行う。
成績評価の方法	在宅看護学実習評価表に基づいて行う。 1) 評価項目について実習指導者の意見を聴取する。 2) 学生が各評価項目について自己評価（中間・最終）を行う。 3) 科目責任者等の在宅看護学実習に関わる教員の意見を聴取する。 4) 1), 2), 3) に基づき、実習担当教員が中間面接、最終面接を行う。 5) 実習状況、提出物等の内容から全実習生の評価を在宅看護学実習に関わる教員全体で確定する。
教科書・テキスト	ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術
参考書	医学書院 強みと弱みからみた在宅看護過程+総合的機能関連図 河野あゆみ編 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 在宅看護論 河野あゆみ編 学研メディカル秀潤社 よくわかる在宅看護 改定第3版 角田直枝編

	医学書院 系統看護学講座 統合分野在宅看護論 秋山正子編
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	2年次の在宅看護学概論、3年次前期の在宅看護学演習・在宅看護学援助論の学習内容を復習した上で実習に臨んでください。在宅看護学実習前後に、国家試験対策問題集の在宅看護学領域を実施することを勧めます。
履修上の留意事項	在宅療養者の生活の場に訪問させていただくことを念頭に利用者の価値観や信念に敬意を払って学習すること。 アレルギー（特にペット）のある学生は事前に実習担当教員に申し出ること。 実習中は担当教員への報告・連絡・相談をしっかりと行うこと。 日々、Aポータルやメールをチェックし、変更等の連絡が無いかチェックしておくこと。
オフィスアワー	実習学内日
課題に対するフィードバックの方法	実習記録の添削を行いフィードバックします。 共有すべきことは学内日やメールなどで全体共有を行います。
実務経験	長田：訪問看護師、訪問看護ステーション管理者
その他	